

夏のお祭り－^{ぎ おんさい}祇園祭・^{てんのうさま}天王様－

祇園ってなに？

「夏のお祭り」と聞いて、皆さんが思い浮かべるのはどんな祭りでしょうか。巨大な山鉦が街を巡行する京都の祇園祭は全国的に有名ですが、常陸大宮市域でも大宮、下小瀬、小倉、小田野、鷺子等で祇園のお祭りが現在も行われていて、御神輿の巡行をはじめ、地域の方々が大切に守り継いできた山車(だし)やお囃子もまた、夏のお祭りの雰囲気をもっと盛り上げています。



▲鷺子山上神社の祇園祭（山車巡行）

祇園祭は、今日、八坂神社のお祭りとして行われることが多いですが、八坂神社は、明治時代以前は「祇園社」と呼ばれ、それが祭りの名称の由来になっています。また、祇園社の守護神は「^{ごずてんのう}牛頭天王」という神でした。現在でも、祇園祭のことを「^{てんのうさま}天王様」と呼ぶこともあります。

ところで、茨城県南地域、特に霞ヶ浦周辺地域祭では、御神輿を霞ヶ浦まで担ぎ運んで洗い清め、これを「^{はまお}浜降り」と呼んでいます。このように、ひとくちに祇園祭といっても、それぞれに地域ごとの特色(地域性)があります。

近いようで遠い？“ほんのちょっと昔”の暮らし

市史の調査の中で、「こんな面白いお祭りは、ここの集落でしか見られない」や、「うちのお囃子はひと味ちがうよ」というような、地元に対する皆さんの熱い思いや、地域の伝統を受け継いできたことへの誇りを垣間見る瞬間は、調査をしている私も心が躍ります。常陸大宮市で暮らしてきた皆さんの日常生活の移りかわりを



民俗部会専門調査員 林 圭史
(茨城県立歴史館 副主任学芸員)



▲小田野地区の天王様（神事）

記録に残すのが、民俗部会の役割のひとつと考えています。

ここで質問です。地域のお祭りの余興で、カラオケが始まったのは何年前のことでしたか？このように、ずっと昔ではなく、ほんのちょっと昔のこと、しかも、より身近なことほど、正確に思い出したり、次の世代の人たちに伝えたりするのが意外と難しいものなのかもしれません。市の歴史を振り返るうえで欠かせない、郷土の人たちの足跡を、私も民俗部会の一員として一緒に記録に残していきたいと思います。

探しています！

古文書・古写真・古い石塔・昔話・珍しい動植物などは、本市の歴史を調査する重要な手がかりです。

お心当たりがありましたら、ぜひご一報ください。

■問い合わせ■

文化スポーツ課

文化・スポーツグループ ☎52-1111（内線344）